

ておけ』とか。

中央停車場で乗り換えるまで、ドナリつゞけた。

僕の姉は泣いてゐる。

僕は許るされた愉快な氣持で、東海道の各驛毎に停車する度に、

ダダダダダダダダダ

ダガバジマクワウリ

と出る丈の聲を振り絞つて絶叫しながら、

眞言の行者

観音經の信者

など、つけ加えたりした。

精神病者は或場合には、奇智に富み、諧謔を弄するものだ。

俗歌を唄つたり、ビールを飲んだりしながら、僕は列車中の人々の僕を恐がらないで、作り笑ひをしない様にと心を勞したりした。